

巻頭インタビュー

愛する「港町」の魅力を伝える

— 気仙沼と世界を結ぶ
架け橋として —

ニシャント・アンヌさん

アメリカ合衆国出身

(一社)気仙沼観光コンベンション協会職員



外国の旅行会社との商談

— 最初に、ご出身について、教えていただけますか？

両親はインド中南部にあるテランガーナ州の州都ハイデラバード出身で、結婚後にアメリカに移住しました。私は両親が移住したアメリカ北東部にあるニューハンプシャー州のロンドンデリーという小さな町で生まれ育ちました。母語は英語ですが、家族とは両親の母語であるテルグ語(※テランガーナ州の公用語)で話します。ロンドンデリーは自然が豊かなところでしたので、小さい頃から、家族でハイキングやキャンプを楽しみました。

— 日本に関心を持ったのは、いつでしょうか？

日本の少年漫画雑誌の英語版を愛読するなど、元々多少の興味はありましたが、関心が高まったのは大学に入学してからです。進学したマサチューセッツ大学は、「少年よ、大志を抱け」の名言で知られるクラーク博士が学長を務めたことから、北海道大学と協定を結んでおり、日本との関係が深い大学でした。日本人の留学生も多く、自然と興味が湧きました。

— 日本語が大変お上手ですが、学生時代に勉強を始めたのでしょうか？

大学1年生のときに勉強を始めました。専攻は英文学だったのですが、外国語も学ばなければなりません。そのときに、「新しい言葉を勉強しよう」と思い、学習経験のあるスペイン語ではなく、日本語を勉強することになりました。でも、始めてみると、文法は難しい、漢字の数は多い、当時の私には難しすぎて、1年半で勉強をやめました。

— そこからなぜ、外国語指導助手(ALT)として日本に来られることになったのでしょうか？

学生時代に、日本人も含め、留学生がアメリカでの生活を楽しんでいるのを見て、「海外で暮らしてみたい」と思うようになりました。知り合いの先生に相談したところ、JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)を勧められ、受けたところ、合格しました。とにかく海外に行きたいという気持ちが強く、行く地域に関する希望は出ませんでした。

— 東日本大震災の被災地でもある気仙沼に来ることに決まって、不安はありませんでしたか？

不安はありました。インターネットで気仙沼について調べると、出てくるのは震災のときの津波の映像や火災の写真ばかり。一方で、英語で書かれた情報はほとんどありませんでした。ただ、これも何かのご縁だろうと思い、気仙沼に行くことに決めました。

— 気仙沼には、いつ来られたのでしょうか？生活は、順調でしたか？

4年前の8月に来ました。生活に関しては、「復興屋台村 気仙沼横丁」にずいぶん助けてもらいました。復興屋台村は震災でお店を失った方が集まった仮設の商店街で、当時、住んでいたアパートのすぐ近くにありま

した。私は毎日のようにそこに行きました。最初はほとんど日本語を話せませんでしたが、「ニシャント、元気か?」とお店の方々がいつも声を掛けてくれて、優しくして下さいました。請求書など日本語で書かれた文書が自宅に届くと、復興屋台村に持って行って、何と書いてあるか教えてもらいました。復興屋台村のお陰で人とのつながりができ、日本語も上手になりました。

— すばらしい出会いでしたね。ALTのお仕事の方は、いかがでしたか？

楽しかったです。小学校1校と中学校2校で2年教えました。特に小学校ではかなり自由にやらせていただき、体育館にカラーコーンを立てて道を作って道案内の練習をさせるなど、子ども達が楽しく英語を学べるように工夫しました。「次の時間はニシャントだー!」と、子ども達も私の授業を楽しみにしてくれて、やりがいもありました。ただ、徐々に仕事以外のところで人間関係が広がり、特に復興関係で頑張っている仲間を見ていると、教育分野に限らず、気仙沼全体のためになる仕事をしたいと思うようになっていきました。

— その気持ちが現在のお仕事につながったのですか？

ALTの仕事を終えた後、アメリカに帰国して日本の自動車関連会社で働いていましたが、ご縁があり、昨年6月に現在の仕事に就きました。日本語の観光情報を英語に翻訳したり、外国人観光客を魚市場などに案内したりしています。海外の旅行会社を集めた商談会に参加し、英語で気仙沼への旅行のPRをすることもあります。

— 気仙沼をよく知る外国人として、気仙沼の魅力はどんなところだと思われますか？

1番の魅力は、昔から変わらない「港町・気仙沼」の姿だと思います。魚市場の活気、漁師さんなど海と深く関わる人々の暮らし、近所の人に魚や野菜をあげたりもらったりする人間関係などです。私自身、震災であればどの被害を受けてなお海を愛し、自然を大事にする気仙沼の人々の生き方、考え方を生活の中で感じ、心を揺さぶられる日々を送っています。

— 抱負を教えてください。

気仙沼は昔から海を通じて世界とつながってきた港町ですが、その魅力は海外ではまだあまり知られていません。しかし、気仙沼は長く水産の町として日本の食の根幹を担ってきた重要な地域であり、自然とともにあるその暮らしは外国人には新鮮に映り、東京や京都にはない面白い出会いがあるはずです。ですので、私としては気仙沼の暮らしを動画や写真も活用しながらブログなどで紹介し、「気仙沼には、こんなすてきなことが待っているよ!」ということを、発信していきたいです。

MIAイベントカレンダー

2018	S	M	T	W	T	F	S	2019	S	M	T	W	T	F	S
12							1	1			1	2	3	4	5
	2	3	4	5	6	7	8		6	7	8	9	10	11	12
	9	10	11	12	13	14	15		13	14	15	16	17	18	19
	16	17	18	19	20	21	22		20	21	22	23	24	25	26
	23	24	25	26	27	28	29		27	28	29	30	31		

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

ホームページ

12月 DECEMBER

11月30日

第51回国際交流事業「ラオスの子ども達による仙台ホームステイプログラム」
(事業期間11月30日～12月10日)

● 地球の子ども通信
☎・FAX 022-376-5382
✉ nra55237@nifty.com
HP http://www.cce-sendai.jp/

2・9・14・16・23・24日

瑞巖寺ボランティアガイド

● 松島善意通訳者の会
● 瑞巖寺
⌚ 10:00～15:00
✂ 不要(直接現地へ)
¥ 入館料700円は自己負担
HP http://www.matsushimagw.club/

2・9・14・16・23日

円通院ボランティアガイド

● 松島善意通訳者の会
● 円通院
⌚ 10:00～15:00
✂ 不要(直接現地へ)
¥ 入場料300円は自己負担
HP http://www.matsushimagw.club/

2日

「ラオスと日本の子ども達による文化交流会」

● 地球の子ども通信
● 大崎市川渡公民館
⌚ 10:00～12:00
✂ 要(電話・FAX・メール)
¥ 無料
☎・FAX 022-376-5382
✉ nra55237@nifty.com
HP http://www.cce-sendai.jp/

8日

第51回国際交流事業「ラオスの子ども達による仙台ホームステイプログラム」
フェアウェルパーティー

● 地球の子ども通信
● 将監西コミュニティセンター
⌚ 18:00～20:00
✂ 要(電話・FAX・メール)
¥ 無料
☎・FAX 022-376-5382
✉ nra55237@nifty.com
HP http://www.cce-sendai.jp/

12日

【外国人市民向け講座】にほんごカフェ
(テーマ:「救命救急」を学ぼう!)

● (公財) 仙台観光国際協会、青葉区中央市民センター (協力:NPO法人ICAS)
● 青葉区中央市民センター 3階 ホール
⌚ 11:00～12:20
✂ 不要
¥ 無料

☎ 022-268-6260
FAX 022-268-6252
✉ y-yamaki@sensia-sendai.jp
HP http://int.sensia-sendai.jp/blog/j-j-3618/

15日

ノエル・パーティー

● 仙台日仏協会 アリانس・フランセーズ
● アリانس・フランセーズ仙台
⌚ 未定(※後日、HP・Facebookでお知らせ)
✂ 要(電話・FAX・メール・来館)
⌚ 未定(※後日、HP・Facebookでお知らせ)
☎ 022-225-1475
FAX 022-225-1407
✉ contact@afsendai.com
HP http://afsendai.com

16日

クリスマス家族交流会

● 国際サークル友好21
● 石巻中央公民館 2階 大ホール
⌚ 9:30～12:30
✂ 要(電話・FAX) ※12月10日締切
¥ 無料
☎ 0225-23-2863(清水)
FAX 0225-23-2865

19日

申請取次行政書士による外国人のための

入管手続無料相談会
● 宮城県行政書士会
● 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
⌚ 13:00～16:00
✂ 電話受付または予約なしでもOK
¥ 無料
☎ 022-261-6768
FAX 022-261-0610

22日

仙台フィンランド協会

「ファミリークリスマスパーティー」
● 仙台フィンランド協会
(事務局:七十七銀行秘書室内)
● 江陽グランドホテル
⌚ 18:00～
✂ 要(FAX、先着100名)
¥ 大人(高校生以上)5,000円
小・中学生2,000円
留学生1,000円
小学生未満無料
☎ 022-267-1111
FAX 022-264-2706

13日

「CCCE 新年会-留学生と共に-」

● 地球の子ども通信
● 未定
⌚ 10:00～12:00

✂ 要(電話・FAX・メール)
¥ 無料
☎・FAX 022-376-5382
✉ nra55237@nifty.com
HP http://www.cce-sendai.jp/

14日

七夕会新年企画会

● 七夕会
● 秋保温泉 ばんじ家
⌚ 10:30～14:00
✂ 要(電話)
¥ 4,000円
☎ 0220-22-4283(桜井ひろ子)

16日

申請取次行政書士による外国人のための
入管手続無料相談会

● 宮城県行政書士会
● 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
⌚ 13:00～16:00
✂ 電話受付または予約なしでもOK
¥ 無料
☎ 022-261-6768
FAX 022-261-0610

17日

エチオピアの女たち-人類学と歴史学の間-

● アフリカ・セミナーの会
● 仙台国際センター 交流コーナー 研修室
⌚ 10:00～12:00
✂ 不要
¥ 1,000円
☎・FAX 022-362-7907

20日

外国人の子ども・サポートの会 公開研修会/
MIA外国籍の子どもサポーター
スキルアップ研修会

● 外国人の子ども・サポートの会
● 公益財団法人宮城県国際化協会
● 仙台国際センター 交流コーナー 研修室
⌚ 10:00～16:30
✂ 要(電話・FAX・メール)
¥ 500円
☎ 022-275-3796
FAX 022-272-5063
✉ mail@mia-miyagi.jp

30日

MIA日本語サポータービギナー研修会

● 公益財団法人宮城県国際化協会
● 宮城県国際化協会 交流ラウンジ
⌚ 13:00～16:00
✂ 要(電話・メール、定員20名、先着順)
¥ 無料
☎ 022-275-3796
✉ mail@mia-miyagi.jp



1月 JANUARY

お知らせ

「倶楽部MIA」、「MIA多言語かわら版」(日・英・中・韓・ベトナム・インドネシア・ネパール)の最新号及びバックナンバーは、WEB上でご覧いただくことができます。

倶楽部MIA

検索



@MIA 2019年度MIA日本語講座講師募集のお知らせ

本協会が主催するMIA日本語講座では、2019年4月からの授業を担当する講師の募集を行います。

- 募集講師：MIA日本語講座初級1または初級2クラス(昼・夜)を担当する方、若干名
- 応募資格：
 - ・日本語教育能力検定に合格している方
 - ・420時間の日本語教師養成講座を修了している方
 - ・大学で日本語教育を主専攻または副専攻で修了
 - ・もしくは上記と同等程度の資格を有する方
- 委嘱期間：2019年4月1日から2019年9月30日まで
(委嘱期間は半年ですが、更新する場合があります)
- 選考方法：①指定の課題について教案を作成し、申込時に提出。
②提出の教案を基に模擬授業。
- 申込締切：2019年1月15日(火)17:00当協会必着
- お問合せ：委嘱条件や教案の課題等詳細についてはMIAまで
(HPに募集要項を掲載しています)

技能実習生との交流会を開催しました

9月末に、塩釜市内に暮らす技能実習生等の外国人を交えた交流会が行われました。

これは、塩釜国際交流協会さんが企画していたものにMIAが共催団体として加わり、技能実習生の受け入れ企業にも声を掛けて、実習生と地域の人たちとのつながりを作る取り組みの一環として開催したものです。

当日は、ベトナム、インドネシアの技能実習生等の在住外国人を含めた約80人が参加し、それぞれが持ち寄った料理を囲んで歓談したり、踊りや歌などのパフォーマンスを楽しんだりしながら交流を深めました。

参加者からは「とても楽しい会だった」という声が聞かれたほか、受け入れ企業や監理団体の方からは「またこのような機会があったら積極的に実習生を参加させたい」「久しぶりに実習生の喜ぶ顔を見た」と

いった感想も寄せられました。

県内の企業で働く技能実習生の数は増加を続けていますが、職場以外のコミュニティとの接点が少ないことが課題の一つとなっています。

今回の交流会のように、実習生と市民が直接会って言葉を交わすことが、その課題解決につながるささやかな一歩になることでしょう。



ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

「日本語を教えよう!2019」イカロス出版

日本語教育に関心がある人のための包括的なガイドブックの最新版です。「日本語を教える」のには、どのようなフィールドがあり(国内、海外、地域の教室)、それぞれどのような方法で目指せばいいのか、実際に現場で活動している人の様子を紹介しながら具体的に解説されています。

政府の施策の影響もあり、日本国内の定住外国人の数は今後も増加することが見込まれています。プロ・ボランティアを問わず、日本語教育に携わる人材のニーズも高まることが予想されるなか、基本的な情報が網羅された本書は貴重な情報源となるでしょう。



JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階

TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090 E-mail thictpp@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています)

JICA東北/二本松・教師海外研修 9名の先生がフィリピン共和国を訪問しました

★JICAでは、教員の皆様を対象に、開発途上国の置かれている状況や国際協力への理解を深め、教育に役立てていただくことを目的として『教師海外研修』を実施しています。今年は東北から9名の先生がフィリピンの青年海外協力隊活動先や現地の学校等を訪問しました。12月8日(土)11時よりJICA東北で9名による授業実践の報告を行います。

★12月9日(日)には『開発教育実務者研修』を開催します。

どちらも見学・参加可能ですので、JICA東北までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ/詳細:JICA東北市民参加協力課 022-223-4772 thictpp@jica.go.jp



フィリピンの小学生に「あなたの夢は何?」と問う東北の先生



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 ✉mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

MIA日本語サポータービギナー研修会

日本語を学習したい外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティア活動について基礎から学ぶ研修会です。日本語サポート活動を初めてみたい方、登録はしてみたけれど実際どうしていいかわからないというビギナーの方々におすすめです。

- 日時 2019年1月30日(水)13:00~16:00
- 場所 宮城県国際化協会 交流ラウンジ
- 内容 地域の国際化と日本語ボランティア活動について、外国語としての日本語、日本語学習教材の紹介、やさしい日本語についてなど
- 講師 鈴木英子氏(MIA日本語講座スーパーバイザー)
- 定員 20名(先着順)
- 申込 MIAまで電話またはEmailにて。

※参加はMIA日本語サポーター登録者に限ります。未登録の方は事前にMIA日本語サポーターへの登録をお願いします。



講師の鈴木英子氏

サポーターの声 佐久間 美紀さん MIA外国籍の子どもサポーター



登録したのは、2年ほど前です。以前は英語教室、現在は大人向けの英会話サロンを運営しており、また夫の仕事の関係で、4年半、アメリカに住んでいた経験もありますので、語学力を活かして、外国籍の子どもたちを支援することができればと思い、登録しました。

現在、県内の小学校で学ぶインド人の姉妹を週3日、サポートしています。勉強に必要な日本語を個別に教えたり、図工など他の子ども達と授業を受けるときと一緒に教室に入って、先生が話している内容を英語で説明してあげたりしています。

2人とも明るく、私の姿を見ると抱きついてくる、かわいい子どもたちです。初めて教室に入るときに緊張して私の手をぎゅっと握ってきたこと、楽しそうに朝顔を水をやったり観察したりしていたことなど、これまでの活動で心に残っていることは、たくさんあります。大事なことは、子どもたちと信頼関係を築くことですが、子どもたちのことを思って一生懸命やれば、その気持ちは必ず伝わるものです。そして、子どもたちは徐々にいろいろなことができるようになっていきます。結果として、子どもたちの成長が私自身の喜びや達成感につながり、私の人生を豊かにしてくれているように感じます。

微力ではありますが、今後も、外国籍の子どもたちを精神面も含めて支え、彼らが日本の学校生活を楽しめるようにお手伝いしていきたいです。

「MIA外国籍の子どもサポーター」とは…

外国籍住民の増加に伴い、県内の小中学校では、日本語学習などの支援を必要とする外国籍児童・生徒も増加しています。「MIA外国籍の子どもサポーター」は、日本語指導の経験がある、またはそうした子どもたちが話す言葉に精通した人材で、子どもたちが円滑に学校生活を送れるように支援しています。その活動は、学校現場の負担軽減にも貢献しています。「MIA外国籍の子どもサポーター」への登録をご希望の方は、MIAまでお問い合わせ下さい。

「倶楽部MIA」100号記念! 読者プレゼント

「倶楽部MIA」は今号で、100号を迎えました。長年のご愛読に感謝を込めて、読者プレゼントを実施します。プレゼントは、巻頭インタビューで紹介したニシャント・アンヌさんお薦めの気仙沼をモチーフにした風呂敷です。綿100%、普段使いに便利な小さめの風呂敷で、お弁当を包んだり、バندان代わりにしたりして、ご利用いただけます。抽選で10名様にプレゼントします。奮って、ご応募下さい。

■応募方法: 「『倶楽部MIA』100号記念 読者プレゼント応募」と明記の上、①名前、②住所、③電話番号、④「倶楽部MIA」100号の感想、⑤取り上げてほしいテーマを、当協会に、メール、FAX、またははがきで、お知らせ下さい。当協会のメールアドレス、FAX番号、住所は、下記をご覧ください。

■締め切り: 2019年1月31日(木)17時必着です。発送をもって、当選者の発表に代えさせていただきます。
(※風呂敷の色は、当協会でご覧いただけます)

※ご応募いただいた皆様の個人情報を、本プレゼント以外の目的で使用することはありません。



賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典
①協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)

- ②当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ③個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引
(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)
- ④企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法
①本協会へてご連絡ください。
所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 **MIA** vol.100

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通南宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/



再生紙を使用しています。